

イベント 自分のお皿で食品ロスゼロを目指そう！
12.17 (日) 26 (火) **冬の環境工作会**

まだ食べられるはずなのに捨てられてしまう食品“フードロス”を考えるため、市役所の会議室で、お皿の絵付け体験が行われました。参加した子どもたちは、動物や食べ物、キャラクターなどを思い思いに描き、自分だけのオリジナルのお皿を仕上げました。マイ皿でご飯を残さず食べて、食品ロスゼロを目指します。



イベント 商売繁盛・家内安全を願い
1.6 (土) 7 (日) **新春恒例 初市(だるま市)・寿くじ**

二宮地区(足利銀行久下田支店前)と真岡地区(市役所東側五行川沿い)で“初市(だるま市)”が開催されました。会場には、大小さまざまなだるまが並び、新年のだるまを買い求める方々にぎわいました。真岡地区では、4年ぶりに寿町商店会による寿くじが行われ、大当たりを願っての新春初の運試しに、会場は盛り上がりました。



真岡で活躍している人を応援します
それいけ！ まちびと

県内で小児科医をしながら、妊娠、出産、子育てを包括的に支援するNPO法人「そらいろコアラ」共同代表理事を務める増田さん。活動のきっかけや想いを、地域おこし協力隊の栗村さんが取材しました。



NPO法人
そらいろコアラ共同代表理事
小児科医 増田 卓哉さん

小学生の頃から、いじめられたり万引きしている子どもたちが気になっていました。子どもにも事情があるのに、周りの大人は完全に他人事。そこに違和感を覚え、子どもの直面している問題を自分事に捉えられる大人になりたいと思いました。大学のボランティアの経験から、一人でも信頼できる大人に出会えば子どもは変わるということに気がきました。子どもたちに寄り添いたいという小児科医の道を選び、病院では対応しきれないSOSをキャッチできるよう、そらいろコアラを立ち上げました。現在相談窓口「コアLINE」と子どもや妊産婦の居場所「そらいろポケット」の運営に取り組み、妊娠・出産・子育てのサポートをしています。手を当てるだけで、体や気持ちが楽になることがあるように、手を当ててくれた人との出会いが、家庭環境の負の連鎖を断ち切ることもあると思うのです。これからも必要な方に手を当てられる活動を続けていきたいと思っています。



市HP ID 20930

市政情報 PLUS+

【人口と世帯数】令和6年1月1日現在 ※カッコ内は前月比
79,002人(−111) 男40,016人(−87) 女38,986人(−24)
33,188世帯(−13) 住民基本台帳と外国人登録者数(4,148人)から算出

本紙裏表紙のコーナー「わが家の天使たち」「笑顔をさがして」に出演してみませんか？市HPから随時募集しています。

市HP ID 19934

JAから小中学校へ消毒液を寄贈

はが野農業協同組合ならびに全国共済農業協同組合連合会栃木県本部は、地域貢献活動の一環として、市内小中学校23校に消毒液を寄贈しました。12月15日(金)、国府田厚志 JA はが野組合長(写真中央)と田村登志郎 JA 共済連栃木本部長(左)が来庁し、山中教育長へ目録を手渡しました。(問・学校教育課総務係Tel 83-8180)



わたのみ基金・善意銀行(12月)

(敬称略、問・社会福祉協議会Tel 82-8844)

わたのみ基金	
真岡信用組合	150,000円
美桜会	7,793円
大内中学校昭和33年度卒業生	40,741円
善意銀行	
JA はが野真岡地区、二宮地区女性会	食品
いちご写真の会	クオカード 4,000円分
連合栃木芳賀地域協議会	白米 14,045kg 玄米 650g
藤田勝衛	そば打ち道具一式
(株)オチアイ商事 落合賢二	カレンダー一式
公文式 北真岡教室 今井和子	16,140円
IJTT 労働組合 真岡支部	20,000円

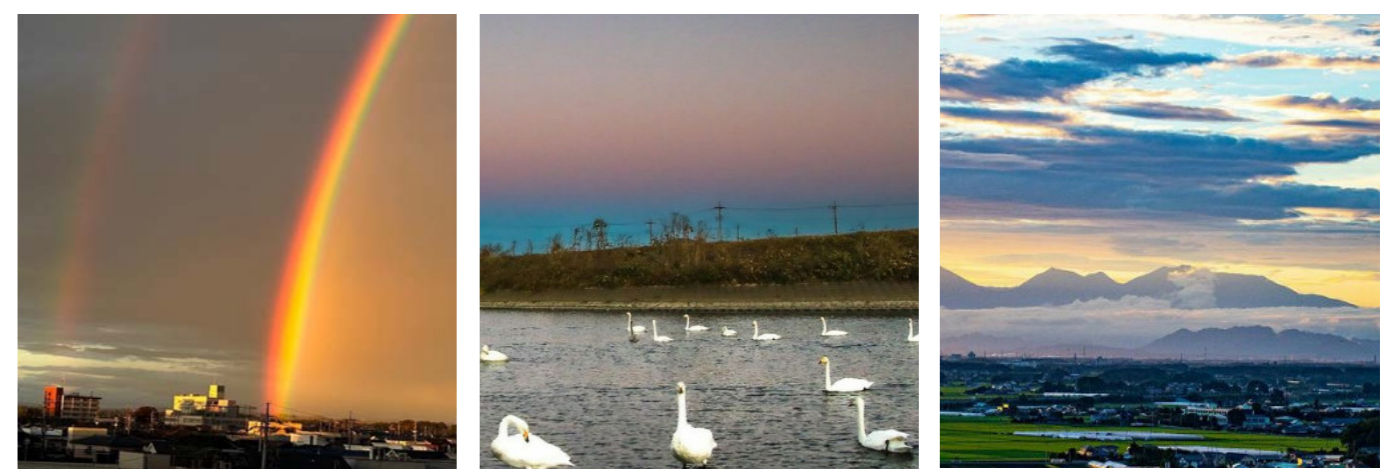
モオカファン
集まれ mokafan
みなさんの SNS 投稿作品を紹介

インスタグラムやフェイスブック、エックスなどのSNSで、#mokafan や#真岡応援カメラマンが付いた作品から、今回は「空」をテーマに紹介します。(問・秘書広報課シティプロモーション係 Tel 81-6947)

ご自身のSNSアカウントで「#mokafan」「#真岡応援カメラマン」をつけて写真を投稿してください。

市HP ID 13734

真岡市公式 Instagram



♥️ Q▽ #虹 (R5年10月10日) ♥️ Q▽ #夕景 #大白鳥(五行川) ♥️ Q▽ #空 #夕焼け